

いいたてロックフェスティバル開催

9月23日、交流センター「ふれ愛館」にて、音楽イベント『いいたてロックフェスティバル』が開かれ、村内外から多くの方が訪れました。本イベントの代表で「つどい茶屋JAZZ喫茶くま」を運営する佐藤祐喜さん(上飯樋)をはじめ、村内、福島市、仙台市などからバンドが出演。それぞれの特色ある音楽を演奏し、観客と一緒に大いに盛り上がりました。写真は、見事な音の調和でセッションする「尺とらズ」の皆さん。熱演に、会場から盛大な拍手が送られました。



上飯樋地区の皆さんがスポーツで交流

9月21日、上飯樋地区の皆さんが、スカットボールで交流しました。主催は住民有志でつくる「13区を考える会」です。この日は『第3回パークゴルフでもやってみっ会』が開催される予定でしたが、雨天のため上飯樋集会所にて、スカットボールを実施しました。行政区が備えた用具を使用する初めての機会となり、約30人の参加者が和気あいあいとニュースポーツに挑戦。表彰式やビンゴ大会も行われ、地域の皆さんが親しく交流を深めました。



飯館ライオンズクラブが村道変遷の写真展

9月2日から30日まで、飯館ライオンズクラブが、交流センター「ふれ愛館」で、『飯館村の村道306キロ写真展』を開催しました。全日本写真連盟南相馬支部の協力を得て1年をかけ撮影した写真から30点を厳選。四季が彩る村道の風景を展示しました。「現在の村はどこに行っても道がいいと言われるようになりました」と同会長の菅野典雄さん(佐須)。「かつての悪路を改良し現在の環境を一からつくり上げた先人の歩みに思いを馳せていただけたら」と展示に込めた思いを話していました。



大学生観光まちづくりコンテスト

9月13日、『大学生観光まちづくりコンテスト』の本選発表会が、富岡町文化交流センター学びの森で開催されました。福島県の被災12市町村をフィールドにした「福島復興ステージ」の開催は3年目で、全国112大学がエントリー。そのうち書類審査を通過した10チームが本選発表会に出場しました。

今回、飯館村をテーマに選んだプロジェクトが初めて本選発表会に進出しました。立教大学チームの「いいはな、いいひと、いいたて。」です。花を介した多様な交流を通して、飯館村の人々の温かさや「までい」の魅力を広く伝えるプロジェクト。同大観光学部の2年生、松本有史さん、水口鞠杏さん、久保田紗妃さん、塩浦真紀さんのチームが思いを込めて発表し、「福の絆賞」を獲得しました。



「ツール・ド・ふくしま」村内を縦断

9月14日・15日にかけて、福島復興サイクルロードレース「ツール・ド・ふくしま2024」が、浜通りと阿武隈山系の市町村で開催されました。

2日目の15日には、長距離部門の選手やチームが飯館村内を縦断。大倉地区から比曾地区に抜ける起伏に富んだコースを力強く駆け抜けました。



15日の早朝、朝もやの中、大倉地区の登り坂を進む自転車の列。

峠を越えて長泥地区の十文字を走行する選手の方々。

いいたてホームの夏祭り

9月7日、特別養護老人ホーム「いいたてホーム」で、夏祭りが開かれました。

入居者も職員も、浴衣や甚平に着替えて会場へ。かき氷や焼きそばなど、お祭りグルメを味わいました。また、夕暮れ時には駐車場にて、みんなで輪になり盆踊り。きれいな花火も楽しみました。

残暑が厳しい毎日が続いていましたが、夕方には涼やかになり、入居者の皆さんが、夏祭りの雰囲気を楽しんでいました。

